



2学期がスタート! 今号では夏休み期間の南農の様子を紹介します!

7/17(金)は1学期の終業式でした。4月に新年度がスタートしたかと思っているうちに、あっという間に1学期の終業式を迎え、「**時間というのは待ってくれない、大切に1日1日を過ごさねば**」と改めて思わずにはいられませんでした。と思うのもつかの間、あっという間に**8/31(月)から南農の2学期がスタート**しました。式のあいさつで私は全校生徒・職員におけ「**1日1日自分にできることを積み重ねる**」ことの大切さについて話しました。何故そのような話をしたかという今年の夏休みは、皆さんご承知の通り熊本県で発生した地震や千葉県の大豪雨災害、中部地方での大雨など大きな災害が立て続けに発生しました。沖縄県でも毎週のように台風が発生し、今後もこのような状況が続いていくことでしょう。「**人間は自然の前では無力である**」ということを改めて教えられてような気がします。被災された方々が苦しい避難所生活を余儀なくされていることを思えば、不自由なく暮らすことができている南農生はその幸せを感じ、日々を大切に過ごすことを実践して欲しくてそのように話しました。生徒達も静かに耳を傾けてくれたことから「**自分ごと**」として捉えてくれたことと思っています!

自分の進路は自らつかむ! 3年生が「就活セミナー」に挑む

夏休みのある日、会議室の電気が点いていたので覗いてみると、3年生が「**就活セミナー**」を受講していました。進路の早期決定を目指して夏休みに入ってすぐにセミナーが開催されていました。(セミナーは2学期含め合計10回です)私が覗いた時の生徒は一生懸命プリントに向き合い、社会の一員を目指して頑張るその姿を見ていると本当に胸が熱くなり、自分の望む進路をつかんで欲しいと強く思いました。早期に進路を決めることは、その後の人生に大きく影響してきます。まだまだ多くの壁が待ち構えているでしょうが、**南農での実習で鍛えた根性**で乗り切ってくれることでしょう!**輝く未来をつかむため、頑張れ 3年生!**



進路ガイダンスを経て、就活セミナーへ



「価値ある失敗」について!

1学期の成績が出てから私は多くの生徒達と面談を行っています。中には残念ながら**出席状況が悪く、成績も振るわなかった生徒も多くいます**。高校は中学までとは違って「単位」を取らなければ卒業できません。**卒業のためには最低限の頑張りが必要になってきます**。そのような生徒達にとって**夏休みは1学期の失敗を取り戻すチャンス**です。面談時には「**追試頑張ります**」「**出校日にしっかりと実習をします**」など生徒それぞれと約束を交わしました。実際に様子を見に行くときちんと取り組む生徒の姿があり、「**継続して頑張れ**」と願わずにはいられませんでした。**人間は誰しも「失敗」をします**。そういう私もこれまで「**失敗続き**」の学生生活を送ってきたのであまり偉そうには言えませんが、大切なのは「**失敗から学ぶ**」ことだと思います。**同じような失敗を繰り返さず失敗から学んだことを今後の人生に生かすことができれば、その失敗は「価値ある失敗」へと変わります**。失敗を失敗のまま終わらせるか、価値ある失敗へと繋げることができるかに**一人一人の成長力が試されている**ように思います。

先生方の頑張りの紹介もします!

私はこれまで親戚や友人から「**教師っていい職業だよな、夏休みも多くて**」と何度も言われてきました。**世間の人々は教師も生徒と同じように夏休みが約40日あると誤解している**ようです。まあ確かに生徒がいなくて授業がない分、いつもよりはゆったりできる部分はあります。しかし、**夏休み期間中こそ先生方は2学期に向けた授業の準備や、教師力の向上に向けた研修に一生懸命取り組んでいる**のです。勉強している分かって夏休みの方が忙しいという先生もいるんです。誤解のないようにして下さいね。8/12には、終日沖縄県教育庁及び総合教育センターより講師をお招きして、**全職員参加の研修を実施**しました。生徒に生きる力をつけさせる授業づくりや、育成したい力に応じた教材づくりなど先生方も学び、2学期以降の授業展開に向けて貴重な研修となったことと思います。先生方の頑張りにについても皆さんに知っていただきたいと思い、一部を紹介させていただきました。

南農は先生方も学び続けます!



ありがとう!

たった一人でも「約束」を守ってくれた!

長かった(?)夏休みも終わり、2学期始業式が8/31(月)に行われ、その場で夏休み中にいろいろな資格や検定取得、各種大会で頑張った優秀な成績を収めた生徒に伝達表彰を行いました。その日の放課後、ある生徒が校長室を訪ねてきてくれました。その目的は面談時に「**2学期の始業式に校長室に来て夏休みの学校生活を報告する**」という**私との約束を覚えていて、それをちゃんと実行してくれた**のです。多くの生徒と同様の約束をしたのですが、今のところその**約束を守ってくれたのはこの生徒一人だけ**です。悲しい気持ちもありますが、私は**たった一人でも約束を守ってくれた生徒がいることの方が嬉しかったし、ますますやる気が湧いてきたように感じています**。生徒の**皆さんの頑張りは「相手(大人)を喜ばせる」力があります**。約束を守ることそのひとつだと思います。「**人を喜ばせること**」を南農一丸でやっていきたいなと思った瞬間でした。

